

2 成人・老人保健

本市では市民の健康の保持・増進を図るため、健康増進法第 17 条第 1 項及び第 19 条の 2 に基づき、健康相談、健康教育、各種がん検診等の健康増進事業を実施している。

また、健康増進法に基づく事業以外に、胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を実施している。

（1）大津市がん対策推進基本計画

「大津市がん対策推進条例」に基づき、がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援などのがん対策について総合的かつ計画的に推進するために、この計画が策定された。

① がん対策推進委員会

がん対策推進条例の規定に基づき設置。年 2 回程度開催し、がん対策の現状や課題、あり方について調査、審議し、計画の進捗を管理している。

② アピアランスケア支援事業

平成 30 年 10 月から開始。がん患者の療養生活の質的向上のため購入する補整用具（ウィッグ・帽子）の購入に係る費用を助成している。

・助成対象者

抗がん剤治療等の副作用による脱毛症状に対処するためにウィッグや帽子を購入し、現にがん治療を受けている、又は過去にがん治療を受けていた市民

・助 成 金 額 補整用具の購入に要した費用に相当する額と、10,000 円のいずれか少ない方の額

・申 請 条 件 助成対象者 1 人につき、生涯 1 回限り

・申 請 状 況

（令和 5 年度）

合計	男性	女性
147 人	4 人	143 人

③ 民間企業との連携によるがん対策推進事業（令和 4 年度～令和 5 年度）

働く世代へのがん対策推進の取組の一環として、令和 4 年度に市内の小規模事業所 2,000 か所を対象としたがん検診の受診状況等に関する実態調査を実施。本調査において、事業主や従業員のがん予防、がん罹患後の仕事と治療の両立等に関する相談の意向があると回答した事業所については、保健師や社会保険労務士による相談支援につなげた。

また、「大津市働く世代のがん対策推進会議」において、関係機関でのがん対策に関する取組状況を共有するとともに、今後の取組の方向性について協議している。

（2）健康手帳の交付

健(検)診の記録や保健指導の記録等を記載し、自らの健康管理に役立てるために、おおむね 40 歳以上の希望者に対して健康手帳を交付している。

健康手帳交付状況（令和 5 年度）

交付数
376 冊

（3）健康教育

生活習慣病や疾病の予防、介護を要する状態となることの予防、その他健康に関する事項について正しい知識の普及を図るとともに、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的に各すこやか相談所において健康教育を実施している。

各すこやか相談所において地域住民を対象に地域の健康課題に応じた健康教育を企画し、実施している。

また、各学区の地域組織や各種団体の依頼に応じ、生活習慣病予防等の健康教育を市民センターや地域自治会館等において実施している。

集団健康教育実施状況（令和5年度）

〈健康増進事業〉

（単位：回・人）

区 分	合 計	骨粗鬆症予防	健康増進	メタボリックシンドローム	食生活	がん予防	生活習慣病予防	禁 煙	他の疾病予防
開催回数	40	9	1	1	3	16	10	-	-
参加延人数	754	101	4	38	54	312	245	-	-

〈介護予防普及啓発事業〉

（単位：回・人）

区 分	合計	介護予防	転倒予防	食生活	口腔ケア	がん予防	閉じこもり予防	認知症予防	健康づくり	骨粗鬆症	地域づくり	生活習慣病予防	他の疾病予防	結核
開催回数	103	28	4	5	4	1	4	6	6	7	10	7	15	6
参加延人数	2,065	550	99	67	91	25	140	134	67	133	134	203	303	119

（４）健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことにより、生活習慣病や疾病の予防及び健康の保持増進を図っている。各すこやか相談所においては、毎日（祝祭日及び土、日を除く）健康相談室を開設し、市民の健康に関する相談に応じている。また、地域によっては、市民センターでの健康相談日を設けている。さらに地域からの依頼による健康相談も実施している。

健康相談実施状況（令和5年度）

（単位：回・人）

相談方法		実施回数	相談延人数				相談延件数										
			母子	成人・老人	精神	合計	母子					成人・老人				精神	合計
							乳児	幼児	妊産婦	思春期	小計	重点	64歳以下	65歳以上	小計		
来所相談	すこやか	1,715	2,812	133	121	3,066	3,856	1,223	106	8	5,193	-	50	102	152	146	5,491
	学区定例	52	327	2	3	332	642	186	3	-	831	-	1	1	2	3	836
	老人クラブ	22	-	305	-	305	-	-	-	-	-	-	11	325	336	-	336
	その他	149	1,127	564	1	1,692	693	808	3	-	1,504	132	209	358	699	1	2,204
	小計	1,938	4,266	1,004	125	5,395	5,191	2,217	112	8	7,528	132	271	786	1,189	150	8,867
電話相談等			1,451	118	2,038	3,607	1,135	622	193	6	1,956	-	66	56	122	2,092	4,170
合 計		1,938	5,717	1,122	2,163	9,002	6,326	2,839	305	14	9,484	132	337	842	1,311	2,242	13,037

（５）訪問指導

療養上の保健指導が必要と認められる者及びその家族等に対して、各すこやか相談所の保健師等が家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図っている。健康増進法に基づく訪問指導は、40歳から64歳までの市民が対象となっている。

（令和5年度）

訪問実人数(人)	77	訪問延人数(人)	78
----------	----	----------	----

（６）肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図ることを目的として、肝炎ウイルス検診を実施している。事業を開始した平成14年度は老人保健法に基づき実施し、平成20年度からは健康増進法に基づき実施してい

る。

平成 23 年度から、国の「肝炎ウイルス検診等実施要領」の一部改正により、個別受診勧奨として、年度年齢 41 歳から 61 歳の 5 歳刻みの節目年齢で、過去に肝炎ウイルス検診を受診していない者に対して無料クーポン券を送付している。また、平成 28 年度からは検診初年度となる年度年齢 40 歳の者に対して無料クーポン券を送付し、受診促進を図っている。

さらに、平成 29 年度から、従来の医療機関委託による個別方式に加え、集団特定健康診査と同日実施による集団方式を実施しており、受診機会の拡大を図っている。

- ・ **対 象 者** 当該年度において 40 歳以上の市民で、以下のいずれかに該当する者。原則生涯に 1 回。
 ア 過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない者
 イ 特定健診及びその他の法令に基づき行われる特定健診に相当する健康診断の結果において、肝機能検査の数値のうち、いずれか 1 つでも保健指導判定値であった者
- ・ **実施方法** 医療機関委託による個別方式及び集団特定健康診査と同日実施による集団方式
- ・ **検査内容** B 型肝炎ウイルス検診及び C 型肝炎ウイルス検診
- ・ **検 診 料** 1,000 円
 （ただし、無料クーポン券交付者、70 歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65 歳から 69 歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

・ **実施方法別受診者数**

個別方式 1,358 人 集団方式 418 人（23 回実施）

・ **無料クーポン券利用状況**

対象者数 23,268 人 利用者数 1,298 人 利用率 5.6%

年齢別性別検診結果

（単位：人）

区 分			総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上		
					男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数			1,776	785	991	216	435	70	97	111	133	103	114	177	123	53	52	55	37
検 診 結 果	B 型	陽性	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		陰性	1,774	784	990	216	435	69	97	111	133	103	114	177	123	53	52	55	36
	C 型	「現在、C型肝炎ウ イルスに感染してい る可能性が高い」	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		「現在、C型肝炎ウ イルスに感染してい る可能性が低い」	1,775	784	991	216	435	70	97	111	133	102	114	177	123	53	52	55	37

（７）がん検診

がん検診は、老人保健法に基づく健康診査として実施（補助金による財源措置）し、平成 10 年度からは老人保健法に基づく健康診査から除かれ、一般の疾病対策の一環として実施していた。平成 20 年度から健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられ、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針について」に基づき実施（地方交付税による財源措置）している。

① **胃がん検診**

胃がんの罹患率、死亡率は減少傾向ではあるが、男女ともにがんによる死亡の上位を占めている。本市では、胃がんを早期発見・早期治療することで、胃がんの死亡率を減少させることを目的として胃がん検

診を実施している。集団方式による胃部エックス線検査に加え、平成 30 年 2 月からは胃内視鏡検査を医療機関委託により個別方式でも実施している。

胃がん検診結果（胃部エックス線検査及び胃内視鏡検査 合計） （単位：人・％）

	全年齢			（再掲）50～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数 （再掲）国保加入者	99,001 (42,519)	39,144 (18,965)	59,857 (23,554)	34,880 (23,036)	13,357 (10,280)	21,523 (12,756)
受診者数	2,118	954	1,164	1,214	433	781
受診率	3.1	3.4	2.9	5.2	4.8	5.4
要精検者数	149	73	76	76	28	48
要精検率	7.0	7.7	6.5	6.3	6.5	6.1
精検受診者数	145	70	75	76	28	48
精検受診率	97.3	95.9	98.7	100.0	100.0	100.0
胃がん	4	4	－	1	1	－
がん発見率	0.19	0.42	－	0.08	0.23	－

※精密検査受診結果については令和 6 年 5 月 7 日現在

※対象者数＝年度当初人口－就業者数（令和 2 年国勢調査）＋農林水産業従事者数（令和 2 年国勢調査）

※胃内視鏡検査の受診間隔が 2 年度に 1 回のため、胃がん検診全体の受診率は以下の方法で受診率を算出する。

（「前年度の内視鏡受診者数」＋「当該年度の内視鏡・エックス線受診者数」－「連続受診者数」）／（当該年度の対象者数）×100

ア．胃部エックス線検査

対 象 者 当該年度において 50 歳以上の市民で 2 年度に 1 回

※原則、偶数年齢者。令和 5 年度に限り、奇数年齢者も受診可能とした。

実施方法 検診機関委託による集団方式

各学区市民センター等において実施：43 回

検査内容 バリウムによる胃部エックス線検査

検 診 料 1,600 円

（ただし、70 歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65 歳から 69 歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

胃部エックス線検査結果（令和 6 年 5 月 7 日現在） （単位：人・％）

	全 年 齢			（再掲）50～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数 （再掲）国保加入者	99,001 (42,519)	39,144 (18,965)	59,857 (23,554)	34,880 (23,036)	13,357 (10,280)	21,523 (12,756)
受診者数 （再掲）国保加入者	770 (471)	360 (240)	410 (231)	418 (271)	158 (128)	260 (143)
受診率	0.8	0.9	0.7	1.2	1.2	1.2
要精検者数	54	23	31	23	7	16
要精検率	7.0	6.4	7.6	5.5	4.4	6.2
精検受診者数	50	20	30	23	7	16
精検受診率	92.6	87.0	96.8	100.0	100.0	100.0
胃がん	－	－	－	－	－	－
がん発見率	－	－	－	－	－	－

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和6年5月7日現在) (単位:人・%)

区 分		総	数		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受診者数		770	360	410	23	70	16	47	34	63	85	80	202	150
	(再掲)初回受診者数	329	143	186	18	42	6	30	25	37	40	28	54	49
	初回受診割合	42.7	39.7	45.4	78.3	60.0	37.5	63.8	73.5	58.7	47.1	35.0	26.7	32.7
検 査 結 果	精検不要者数	716	337	379	22	63	16	44	34	60	79	77	186	135
	要精検者数	54	23	31	1	7	－	3	－	3	6	3	16	15
	要精検率	7.0	6.4	7.6	4.3	10.0	－	6.4	－	4.8	7.1	3.8	7.9	10.0
精 検	受診者数	50	20	30	1	7	－	3	－	3	6	3	13	14
	胃がん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	がんの疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	胃がん以外の疾患	42	14	28	－	7	－	3	－	3	4	2	10	13
	異常なし	8	6	2	1	－	－	－	－	－	2	1	3	1

イ. 胃内視鏡検査

対 象 者 当該年度において50歳以上の偶数年齢の市民で2年度に1回

実施方法 医療機関委託による個別方式

検査方法 胃内視鏡検査

検 診 料 4,000 円

(ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。)

胃内視鏡検査結果(令和6年5月7日現在)

(単位:人・%)

	全 年 齢			(再掲) 50～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	99,001	39,144	59,857	34,880	13,357	21,523
(再掲) 国保加入者	(42,519)	(18,965)	(23,554)	(23,036)	(10,280)	(12,756)
受診者数						
当該年度	1,348	594	754	796	275	521
(再掲) 国保加入者	(749)	(341)	(408)	(418)	(155)	(263)
前年度受診者	1,045	421	624	620	225	395
連続受診者数	61	34	27	31	13	18
受診率	2.4	2.5	2.3	4.0	3.6	4.2
要精検者数	95	50	45	53	21	32
要精検率	7.0	8.4	6.0	6.7	7.6	6.1
精検受診者数	95	50	45	53	21	32
精検受診率	100	100	100	100	100	100
胃がん	4	4	—	1	1	—
がん発見率	0.30	0.67	—	0.13	0.36	—

※胃内視鏡検査は、受診間隔が2年度に1回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「連続受診者数」) / (当該年度の対象者数) × 100

※「連続受診者」とは、前年度及び当該年度において、2年度続けて胃がん検診(エックス線又は内視鏡)を受診した者をいう。

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和6年5月7日現在)

(単位:人・%)

区 分		総 数		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数		1,348	594	754	68	149	14	55	118	216	75	101	319	233
(再掲) 初回受診者数		964	396	568	51	128	9	39	94	177	54	66	188	158
初回受診率		71.5	66.7	75.3	75.0	85.9	64.3	70.9	79.7	81.9	72.0	65.3	58.9	67.8
検 診 結 果	精検不要者数	1,267	552	715	63	140	13	53	110	205	71	95	295	222
	要精検者数	95	50	45	6	9	1	2	9	14	5	7	29	13
	生検受診者数	95	50	45	6	9	1	2	9	14	5	7	29	13
	生検率	7.0	8.4	6.0	8.8	6.0	7.1	3.6	7.6	6.5	6.7	6.9	9.1	5.6
	検診時生検未受診のうち要再検査者数	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
精検受診者数		95	50	45	6	9	1	2	9	14	5	7	29	13
精 密 検 査 結 果	胃がん	4	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-
	胃がんの疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃がん以外の疾患	66	35	31	3	8	1	1	6	7	3	5	22	10
	異常なし	25	11	14	3	1	-	1	3	7	1	2	4	3

② 大腸がん検診

高齢化の影響もあり、大腸がんの死亡者数は増加傾向にある。そこで本市では大腸がんを早期発見・早期治療することで、大腸がんの死亡率の減少を図ることを目的に大腸がん検診を実施している。平成2年度から老人保健法に基づき実施し、平成5年度からは医療機関に委託して実施している。平成30年度から集団特定健康診査と同日実施による集団方式を実施するとともに、令和4年度から5がんセット検診を実施し、受診機会の拡大を図っている。

対 象 者 当該年度において40歳以上の市民で1年度に1回

実施方法 医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式

検査方法 便潜血検査（免疫便潜血検査2日法、OCセンサー方式）

検 診 料 800 円

（ただし、70歳以上の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

実施方法別受診者数

個別方式 14,288 人 集団方式 2,006 人（24回実施）

大腸がん検診結果

(単位:人・%)

	全 年 齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	109,978 (48,777)	43,064 (22,279)	66,914 (26,498)	45,857 (29,294)	17,277 (13,594)	28,580 (15,700)
受診者数	16,294 (9,608)	6,006 (3,854)	10,288 (5,754)	7,871 (5,229)	2,521 (2,070)	5,350 (3,159)
受診率	14.8	13.9	15.4	17.2	14.6	18.7
要精検者数	883	413	470	345	134	211
要精検率	5.4	6.9	4.6	4.4	5.3	3.9
精検受診者数	699	316	383	274	99	175
精検受診率	79.2	76.5	81.5	79.4	73.9	82.9
大腸がん	36	19	17	13	7	6
がん発見率	0.22	0.32	0.17	0.17	0.28	0.11

※精密検査受診結果については令和6年5月7日現在

※対象者数＝年度当初人口-就業者数（令和2年国勢調査）+農林水産業従事者数（令和2年国勢調査）

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※（ ）（再掲）大津市国民健康保険の被保険者

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和6年5月7日現在)

(単位：人・%)

区 分			総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数			16,294	6,006	10,288	237	545	235	496	336	722	285	694	490	1,141	938	1,752	3,485	4,938
検診結果	(再掲) 初回受診者数		4,791	1,858	2,933	147	376	87	198	145	316	113	234	225	409	339	450	802	950
	初回受診率		29.4	30.9	28.5	62.0	69.0	37.0	39.9	43.2	43.8	39.6	33.7	45.9	35.8	36.1	25.7	23.0	19.2
	精検不要者数		15,411	5,593	9,818	231	516	223	473	318	696	271	668	464	1,101	880	1,685	3,206	4,679
精検結果	要精検者数		883	413	470	6	29	12	23	18	26	14	26	26	40	58	67	279	259
	要精検率		5.4	6.9	4.6	2.5	5.3	5.1	4.6	5.4	3.6	4.9	3.7	5.3	3.5	6.2	3.8	8.0	5.2
精検受診者数			699	316	383	5	23	9	19	10	21	10	17	17	33	48	62	217	208
精密検査結果	大腸がん	早期がん	17	7	10	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	2	2	3	5
		進行がん	19	12	7	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9	6
		進行期不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大腸がんの疑い		10	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	5
	ポリプ	腺腫性	365	183	182	-	4	3	10	6	7	5	7	5	8	28	26	136	120
		過形成性	35	13	22	1	2	-	1	-	1	-	1	-	2	3	5	9	10
		その他	16	7	9	-	-	-	1	-	1	1	-	2	1	-	1	4	5
	潰瘍性大腸炎		3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	クローン病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	炎症性腸疾患		2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	憩室		42	25	17	1	2	2	-	1	-	-	2	1	2	4	1	16	10
	痔核		41	21	20	-	2	1	-	-	2	3	-	2	2	3	6	12	8
	その他		18	6	12	-	-	-	-	1	-	-	3	-	1	3	3	6	11
	異常なし		131	36	95	3	12	3	7	2	10	-	4	3	14	4	18	21	30

③ 肺がん結核検診

我が国のがんによる死亡者数は、現在、肺がんが最も多い。そこで本市では、肺がんを早期発見・早期治療することで、肺がんの死亡率を減少させることを目的に、平成22年10月から肺がん検診を実施している。また、結核については、住民結核検診として65歳以上の者を対象に検診車による集団検診を実施していたが、平成26年度に肺がん検診に統合し、肺がん結核検診として、近くの実施医療機関で受診できるよう個別方式に変更した。平成29年度から集団特定健康診査と同日実施による集団方式を実施するとともに、令和4年度から5がんセット検診及び高齢者の結核対策として地域巡回型の集団検診を実施し、受診機会の拡大を図っている。

対 象 者 当該年度において40歳以上の市民及び65歳以上の市内居住者で1年度に1回

実施方法 医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式

検査内容 胸部エックス線検査、喀痰細胞診（対象者に条件あり。個別方式のみ）

検 診 料 胸部エックス線検査 800 円 喀痰細胞診 1,000 円

（ただし、70歳以上（胸部エックス線検査については65歳以上）の者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者、65歳から69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

実施方法別受診者数

個別方式 16,270 人 集団方式 2,067 人（26回実施）

肺がん結核検診結果

(単位：人・％)

	全 年 齢			(再掲) 40～69 歳		
	総数	男	女	計	男	女
対象者数	109,978 (48,777)	43,064 (22,279)	66,914 (26,498)	45,857 (29,294)	17,277 (13,594)	28,580 (15,700)
受診者数	18,337 (10,710)	6,996 (4,439)	11,341 (6,271)	7,673 (5,645)	2,605 (2,307)	5,068 (3,338)
受診率	16.7	16.2	16.9	16.7	15.1	17.7
要精検者数	1,176 [865]	518 [378]	658 [487]	381 [281]	157 [123]	224 [158]
要精検率	6.4 [4.7]	7.4 [5.4]	5.8 [4.3]	5.0 [3.7]	6.0 [4.7]	4.4 [3.1]
精検受診者数	1,092 [811]	476 [353]	616 [458]	360 [270]	147 [117]	213 [153]
精検受診率	92.9 [93.8]	91.9 [93.4]	93.6 [94.0]	94.5 [96.1]	93.6 [95.1]	95.1 [96.8]
肺がん	6 [4]	5 [3]	1 [1]	3 [3]	2 [2]	1 [1]
がん発見率	0.03	0.07	0.01	0.04	0.08	0.02

※精密検査受診結果については令和6年5月8日現在

※対象者数＝年度当初人口－就業者数（令和2年国勢調査）＋農林水産業従事者数（令和2年国勢調査）

※（ ）（再掲）大津市国民健康保険の被保険者

※〔 〕内の数字はE判定の結果（E判定：X線検査及び喀痰細胞診の結果、肺がんを疑うもの）

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果(令和6年5月8日現在)

(単位：人・％)

区 分	総 数			40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70 歳以上		
	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数	18,337	6,996	11,341	167	410	238	457	321	612	308	633	469	1,081	1,102	1,875	4,391	6,273	
(再掲)喀痰検査 実施者数	1,106	1,007	99	－	－	－	－	40	8	47	7	65	12	161	23	694	49	
	(再掲)初回受診 者数	7,093	2,741	4,352	90	278	113	233	152	310	128	292	228	528	478	674	1,552	2,037
	初回受診率	38.7	39.2	38.4	53.9	67.8	47.5	51.0	47.4	50.7	41.6	46.1	48.6	48.8	43.4	35.9	35.3	32.5
検 診 結 果	精検不要者数	17,161	6,478	10,683	164	399	225	443	305	596	289	608	441	1,033	1,024	1,765	4,030	5,839
	要精検者数	1,176	518	658	3	11	13	14	16	16	19	25	28	48	78	110	361	434
	要精検率	6.4	7.4	5.8	1.8	2.7	5.5	3.1	5.0	2.6	6.2	3.9	6.0	4.4	7.1	5.9	8.2	6.9
	(再掲) E判定者 数	865	378	487	2	4	12	11	13	12	17	17	22	32	57	82	255	329
	E判定率	4.7	5.4	4.3	1.2	1.0	5.0	2.4	4.0	2.0	5.5	2.7	4.7	3.0	5.2	4.4	5.8	5.2
精検受診者数	1,092	476	616	2	10	12	13	14	14	19	22	26	47	74	107	329	403	
精 密 検 査 結 果	原発性肺がん	4	3	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	2	－	
	転移性肺がん	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	
	その他のがん	5	2	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	2	2	
	肺がんの疑い	38	15	23	－	－	1	－	－	1	－	2	1	3	2	2	11	15
	その他の肺腫瘍	9	3	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	2	－	1	4
	その他の肺病変	231	99	132	－	2	3	－	－	1	－	5	8	9	13	27	75	88
	肺結核症	11	5	6	－	－	－	－	1	－	－	2	－	－	－	－	4	4
	その他	223	106	117	－	1	－	3	2	3	7	3	3	9	15	16	79	82
	異常なし	569	241	328	2	7	8	10	11	9	12	10	14	24	40	60	154	208

④ 子宮頸がん検診

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が主な原因とされ、20～30 歳代で増加傾向にある。子宮頸がんは早期に治療を行えばほとんどが治癒することから、早期発見が重要となっている。そこで本市では、子宮頸がんを早期発見、早期治療することで、子宮頸がんの死亡率を減少させることを目的に子宮頸がん検診を実施している。

平成 10 年度までは子宮がん検診として実施してきたが、平成 11 年度から有症状者を対象とする体部がん検診は医療の範疇として廃止し、子宮頸がん検診のみを実施している。また、平成 17 年度から、国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、対象年齢を 30 歳以上から 20 歳以上に変更し、受診回数は 2 年度に 1 回とした。平成 23 年度からは、受診機会の拡大を目的に、滋賀県内 19 市町が集合契約を締結し県内全域の委託医療機関で受診可能となった。令和 2 年度からは乳がん検診（集団）とのセット検診を実施している。

地方交付税の上乗せとして平成 21 年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成 23 年度から「がん検診推進事業」、平成 26 年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成 27 年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、21 歳の前年度未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市単独事業として 20 歳全員に無料クーポン券、22 歳～69 歳の前年度未受診者に対し、有料受診券を送付することで受診促進を図っている。

対 象 者 当該年度において 20 歳以上の女性市民で 2 年度に 1 回

実施方法 県内医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式

検査内容 問診、視診、内診、子宮頸部の細胞診

検 診 料 1,600 円

（ただし、無料クーポン券交付者、70 歳以上の者、65 歳から 69 歳の後期高齢者医療制度加入者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

子宮頸がん検診結果

（単位：人・％）

	全年齢	（再掲）20～69 歳
対象者数	80,231 (30,515)	41,897 (19,717)
受診者数	11,286 (2,330)	10,503 (1,935)
前年度受診者数	11,780	11,056
連続受診者数	—	—
受診率	28.7	51.5
要精検者数	276	262
要精検率	2.4	2.5
精検受診者数	208	197
精検受診率	75.4	75.2
子宮頸がん	1	1
がん発見率	0.009	0.01

※子宮頸がん検診は、受診間隔が 2 年度に 1 回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「連続受診者数」）／（当該年度の対象者数）×100

※精密検査受診結果については令和 6 年 5 月 7 日現在

※対象者数＝年度当初人口－就業者数（令和 2 年国勢調査）＋農林水産業従事者数（令和 2 年国勢調査）

※精密検査受診者数及び受診率については、原則指針に基づいた精密検査方法で実施しているもののみ計上する。

※（ ）（再掲）大津市国民健康保険の被保険者

無料クーポン券利用状況

対象者数 3,347 人 利用者数 190 人 利用率 5.7％

年齢別検診結果及び精密検査受診結果（令和6年5月7日現在）

（単位：人・％）

区 分		総計	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上	
受診者数		11, 286	609	825	999	1, 196	1, 407	1, 471	1, 301	974	841	880	783	
	（再掲）初回受診者	5, 350	491	560	547	545	602	626	522	394	345	325	393	
	初回受診割合	47. 4	80. 6	67. 9	54. 8	45. 6	42. 8	42. 6	40. 1	40. 5	41. 0	36. 9	50. 2	
検診結果	精検不要	11, 009	578	787	972	1, 153	1, 382	1, 431	1, 278	961	826	873	768	
	要精検者数	276	31	38	27	43	25	40	23	13	15	7	14	
	要精検率	2. 4	5. 1	4. 6	2. 7	3. 6	1. 8	2. 7	1. 8	1. 3	1. 8	0. 8	1. 8	
	判定不能	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
精検受診者数		208	22	28	19	27	18	35	22	10	10	6	11	
精密検査結果	扁平上皮がん I b 期～	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	扁平上皮がん I a 期	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	頸部腺がん I b 期～	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	頸部腺がん I a 期	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	
	頸部がん(進行期不明)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	頸部がん疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	上皮内腺がん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	体部内膜がん I b 期～	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	体部内膜がん I a 期	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	体部内膜がん(進行期不明)	2	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	
	異形成高度	11	2	－	－	1	2	6	－	－	－	－	－	
	異形成中等度	24	5	3	2	4	3	3	－	－	－	1	3	
	異形成軽度	76	9	13	7	9	7	13	7	3	4	1	3	
	異形成不明	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	頸部腺異形成	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	細胞診異常	6	1	－	－	2	1	2	－	－	－	－	－	
	内膜異形増殖症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	内膜増殖症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	膣炎	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
	頸管炎	6	1	1	1	－	－	1	1	－	1	－	－	
	頸管ポリープ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	子宮膣部びらん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	卵巣腫瘍	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	その他	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	特記すべき病変なし		79	4	10	9	10	5	10	12	7	4	4	4
実施方法別内訳	個別検診	受診者数	10, 751	609	825	999	1, 196	1, 330	1, 407	1, 235	898	755	790	707
		初回受診者数	4, 994	491	560	547	545	555	587	481	343	280	265	340
		初回受診割合	46. 5	80. 6	67. 9	54. 8	45. 6	41. 7	41. 7	38. 9	38. 2	37. 1	33. 5	48. 1
		精検不要者数	10, 481	578	787	972	1, 153	1, 305	1, 369	1, 212	887	741	783	694
		要精検者数	269	31	38	27	43	25	38	23	11	14	7	12
		判定不能	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
		精検受診者数	202	22	28	19	27	18	33	22	8	9	6	10
		扁平上皮がん I b 期～	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		扁平上皮がん I a 期	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		頸部腺がん I b 期～	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		頸部腺がん I a 期	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
		頸部がん(進行期不明)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		頸部がん疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		上皮内腺がん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		体部内膜がん I b 期～	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	体部内膜がん I a 期	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

集団検診		体部内膜がん(進行期不明)	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
		異形成高度	10	2	-	-	1	2	5	-	-	-	-	-
		異形成中等度	24	5	3	2	4	3	3	-	-	-	1	3
		異形成軽度	72	9	13	7	9	7	12	7	2	3	1	2
		異形成不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		頸部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		細胞診異常	6	1	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-
		内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		膣炎	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		頸管炎	6	1	1	1	-	-	1	1	-	1	-	-
		頸管ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		特記すべき病変なし	78	4	10	9	10	5	10	12	6	4	4	4
	精密検査結果	受診者数	535	-	-	-	-	77	64	66	76	86	90	76
		初回受診者数	356	-	-	-	-	47	39	41	51	65	60	53
		初回受診割合	66.5	-	-	-	-	61.0	60.9	62.1	67.1	75.6	66.7	69.7
		検査結果 精検不要者数	528	-	-	-	-	77	62	66	74	85	90	74
		要精検者数	7	-	-	-	-	-	2	-	2	1	-	2
		精検受診者数	6	-	-	-	-	-	2	-	2	1	-	1
		扁平上皮がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		扁平上皮がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸部腺がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸部腺がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸部がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸部がん疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		上皮内腺がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		体部内膜がん I b 期～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		体部内膜がん I a 期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		体部内膜がん(進行期不明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		異形成高度	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		異形成中等度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		異形成軽度	4	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1
		異形成不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸部腺異形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		細胞診異常	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		内膜異形増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		内膜増殖症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		膣炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸管炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		頸管ポリープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		子宮膣部びらん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		卵巣腫瘍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		特記すべき病変なし	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

⑤ 乳がん検診

乳がんは年々増加しており、40 歳代後半と 60 歳代が罹患率のピークになっている。乳がんの罹患率は女性のがんで 1 位となっているが、早期治療により治癒が可能とされている。そこで本市では、乳がんの早期発見・早期治療により、乳がんの死亡率の減少を図ることを目的に乳がん検診を実施している。

平成 13 年 9 月までは 30 歳以上の女性市民を対象に視触診による乳がん検診を実施してきたが、平成 13 年 10 月から、50 歳以上の女性市民を対象に視触診・マンモグラフィ併用法を一部導入した。平成 17 年度から国の「がん検診実施のための指針」の一部改正に伴い、40 歳以上の女性市民を対象とした視触診・マンモグラフィ併用法による乳がん検診に変更し、受診回数は 2 年度に 1 回とした。平成 29 年度からマンモグラフィ単独検診となったことで、集団検診の予約枠数が 40 人から 60 人に増加し、平成 30 年度から集団特定健康診査との同日実施で乳がん検診を実施、令和 2 年度からは子宮頸がん検診とのセット検診を実施し、受診機会の拡大を図っている。

地方交付税の上乗せとして、平成 21 年度から「女性特有のがん検診推進事業」、平成 23 年度から「がん検診推進事業」、平成 26 年度は「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」、平成 27 年度からは「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」による補助制度を活用し、41 歳の前年度未受診者に無料クーポン券を送付している。また、市の単独事業として、40 歳全員に無料クーポン券、年度年齢 42～69 歳の前年度未受診者に受診勧奨はがきを送付することで受診促進を図っている。

対 象 者 当該年度において 40 歳以上の女性市民で 2 年度に 1 回

実施方法 医療機関委託による個別方式及び検診機関委託による集団方式

検査内容 マンモグラフィ単独法

検 診 料 個別検診で 40 歳代 2,000 円、50 歳以上 1,600 円

集団検診で 40 歳代 2,100 円、50 歳以上 1,800 円

（ただし、無料クーポン券交付者、70 歳以上の者、65 歳から 69 歳の後期高齢者医療制度加入者、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

乳がん検診結果

（単位：人・％）

	全年齢	（再掲）40～69 歳
対象者数	66,914 (26,498)	28,580 (15,700)
受診者数	5,798 (1,312)	4,931 (966)
前年度受診者数	5,022	4,235
連続受診者数	—	—
受診率	16.2	32.1
要精検者数	496	432
要精検率	8.6	8.8
精検受診者数	454	396
精検受診率	91.5	91.7
乳がん	24	21
がん発見率	0.41	0.43

※乳がん検診は、受診間隔が 2 年度に 1 回となるため、以下の方法で受診率を算出する。

（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「連続受診者数」）／（当該年度の対象者数）×100

※精密検査受診結果については令和 6 年 5 月 7 日現在

※対象者数＝年度当初人口－就業者数（令和 2 年国勢調査）＋農林水産業従事者数（令和 2 年国勢調査）

※（ ）（再掲）大津市国民健康保険の被保険者

無料クーポン券利用状況

対象者数 3,900 人 利用者数 502 人 利用率 12.9％

年齢別検診結果及び精密検査受診結果（令和6年5月7日現在）

（単位：人・％）

区 分		総 数	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上
受診者数		5,798	985	771	833	734	779	829	867
	（再掲）初回受診者数	2,720	739	334	346	300	322	316	363
	初回受診割合	46.9	75.0	43.3	41.5	40.9	41.3	38.1	41.9
検診結果	精検不要者数	5,302	879	676	755	686	715	788	803
	要精検者数	496	106	95	78	48	64	41	64
	要精検率	8.6	10.8	12.3	9.4	6.5	8.2	4.9	7.4
精検受診者数		454	98	84	73	42	60	39	58
精密検査結果	乳がん	24	3	3	6	4	4	1	3
	線維腺腫	44	16	4	4	2	6	5	7
	乳腺症	105	20	31	24	5	8	5	12
	その他	51	13	10	6	7	6	5	4
	乳がん疑い	10	1	1	－	－	3	1	4
	異常なし	220	45	35	33	24	33	22	28
実施方法別内訳	個別検診	受診者数	4,765	861	622	694	612	644	672
		（再掲）初回受診者数	2,145	647	256	287	233	240	255
		初回受診割合	45.0	75.1	41.2	41.4	38.1	37.3	37.9
		検診結果	精検不要者数	4,346	765	547	625	570	587
			要精検者数	419	96	75	69	42	57
		精検受診者数		387	88	67	64	37	55
		精密検査結果	乳がん	18	3	3	6	1	4
			線維腺腫	36	15	3	3	2	5
			乳腺症	92	18	26	20	5	8
			その他	43	12	6	5	7	6
			乳がん疑い	10	1	1	－	3	1
			異常なし	188	39	28	30	22	29
	集団検診	受診者数	1,033	124	149	139	122	135	169
		（再掲）初回受診者数	575	92	78	59	67	82	89
		初回受診割合	55.7	74.2	52.3	42.4	54.9	60.7	52.7
		検診結果	精検不要者数	956	114	129	130	116	128
			要精検者数	77	10	20	9	6	7
		精検受診者数		67	10	17	9	5	5
		精密検査結果	乳がん	6	－	－	－	3	－
			線維腺腫	8	1	1	1	－	1
			乳腺症	13	2	5	4	－	－
			その他	8	1	4	1	－	－
			乳がん疑い	－	－	－	－	－	－
			異常なし	32	6	7	3	2	4

⑥ 胃がんリスク検診（胃の健康度検査）

平成 24 年 10 月から、従来の胃がん検診に加え胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を導入した。胃がんリスク検診は、胃がんリスクの高い人を早期に発見し、医療につなげることで、胃がんの死亡率の減少を図ることを目的に実施している。令和 3 年度までは当該年度において 41 歳から 61 歳の 5 歳刻みの年齢を対象に実施していたが、令和 4 年度からは対象年齢を拡大して実施している。

対 象 者 当該年度において 40～60 歳の市民

ただし、過去に胃がんリスク検診を受診したことがない者に限る。

実施方法 医療機関委託による個別方式

検査内容 血清ペプシノゲン検査、血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査

検 診 料 1,300 円

（ただし、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の者は無料。また大津市国民健康保険加入者は、国民健康保険の助成により無料。）

年齢別性別検診結果及び精密検査受診結果（令和 6 年 5 月 7 日現在）

（単位：人・％）

区 分			総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～60 歳		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数			130	50	80	7	16	11	8	23	35	9	21
検診結果	精検不要者数 A群		105	40	65	7	15	9	4	18	30	6	16
	要精検者数		25	10	15	－	1	2	4	5	5	3	5
	内訳	B 群	17	6	11	－	1	1	3	3	4	2	3
		C 群	8	4	4	－	－	1	1	2	1	1	2
	要精検率		19.2	20.0	18.8	0.0	6.3	18.2	50.0	21.7	14.3	33.3	23.8
B 群 精検受診者数			9	4	5	－	1	－	1	2	1	2	2
精密検査結果 B 群	胃がん		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	がんの疑い		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	胃がん以外の疾患		8	3	5	－	1	－	1	1	1	2	2
	異常なし		1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－
C 群 精検受診者数			2	－	2	－	－	－	1	－	1	－	－
精密検査結果 C 群	胃がん		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	がんの疑い		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	胃がん以外の疾患		2	－	2	－	－	－	1	－	1	－	－
	異常なし		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

検診後の除菌状況（令和 6 年 5 月 7 日現在）

（単位：人）

区 分			総 数		40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～60 歳	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
除菌者数			8	2	6	－	1	－	2	－	2	1
内 訳	B 群		6	2	4	－	1	－	1	－	2	1
	C 群		2	－	2	－	－	－	1	－	1	－

(8) 健康診査

平成 18 年の医療制度改革において老人保健法が高齢者の医療の確保に関する法律に全面改正され、医療保険者に、40 歳以上 74 歳以下の被保険者及び被扶養者に対する生活習慣病予防に着眼した特定健康診査及び特定保健指導が義務付けられた。これに伴い、老人保健法に位置づけられていた事業のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に定められたもの以外については、健康増進法に基づく健康増進事業として市町村が引き続き実施することとされた。これにより平成 20 年 4 月 1 日から大津市国民健康保険の保険者として特定健康診査及び特定保健指導を実施している。また、滋賀県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け後期高齢者医療制度の被保険者を対象とした健康診査を実施している。合わせて医療保険に加入していない生活保護受給者等を対象とし、健康増進法に基づく基本健康診査を実施している。

① 後期高齢者健康診査

対 象 者 滋賀県後期高齢者医療制度被保険者

(ただし、平成 27 年度から、委託元である滋賀県後期高齢者医療広域連合の方針に従い、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外)

実施場所 県内登録医療機関において実施

実施期間 令和 5 年 6 月から令和 6 年 1 月 31 日まで

健診内容 基本項目（問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査）

(受診状況) 対象者数 15,114 人

(令和 6 年 7 月 11 日)

区 分	総 数	65～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100 歳以上
受診者数 (人)	4,010	13	2,483	1,039	344	109	22	-
受診率 (%)	26.5							

② 基本健康診査

対 象 者 当該年度において 40 歳以上で医療保険に未加入の大津市生活保護受給者等

(ただし、75 歳以上の者については、後期高齢者健康診査の対象者の変更に併せ、要介護認定を受けている者及び生活習慣病により定期的に受診している者は対象外)

実施期間 令和 5 年 6 月から令和 6 年 1 月 31 日まで

健診内容 基本項目（問診、身体計測、血圧、血液検査、尿検査）

追加項目（血液検査&尿検査）※75 歳未満、（血液検査）※75 歳以上

詳細項目（心電図検査、眼底検査、貧血検査）※75 歳未満の該当者のみ実施

保健指導 ※75 歳未満の該当者で希望する者に実施

(受診者数)

(令和 5 年度)

区 分	総 数			40～44 歳		45～49 歳		50～54 歳		55～59 歳		60～64 歳		65～69 歳		70～74 歳		75 歳以上	
	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
対象者数 (人)	2,524	1,299	1,225	68	79	88	106	137	132	163	145	167	129	189	105	234	188	253	341
受診者数 (人)	234	120	114	4	5	6	6	9	12	22	10	19	16	16	12	20	21	24	32
受診率 (%)	9.3	9.2	9.3																